

# 事務事業チェックシート

事務事業No **11294** 事業名 **わかやま名所・旧跡絵画展開催交付金事業**

[事業基本情報]

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	わかやま名所・旧跡絵画展開催交付金事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 文化振興課 宮脇 進 435-1194
事業実施の根拠法令	わかやま名所・旧跡絵画展開催交付金交付要綱		関連課	

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	本市の名所や旧跡をテーマにした絵画展を開催し、本市の美術文化の振興を図るだけでなく、市民に歴史や文化を身近に感じ慣れ親しんでもらう。		油絵・水彩画・版画・日本画・水墨画などの一般公募を行い展示し、作品の趣に重点を置く作品展を開催する。			
事業内容		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
		第8回わかやま名所・旧跡絵画展 令和3年1月24日～1月30日 和歌山市民会館 展示室	第9回わかやま名所・旧跡絵画展 令和4年1月23日～1月29日 和歌山城ホール 展示室	第10回わかやま名所・旧跡絵画展 令和5年1月22日～1月28日 和歌山城ホール 展示室	わかやま名所・旧跡絵画展会期 1月下旬から2月上旬まで 開催場所 和歌山城ホール 展示室	わかやま名所・旧跡絵画展会期 1月下旬から2月上旬まで 開催場所 和歌山城ホール 展示室

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	800	800	800	800	881	881	848	0	848	0	
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	10.1%	10.1%	△3.7%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	2,071	2,150	2,017	2,095	3,366	3,067	1,571	0	1,571	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,071	2,150	2,017	2,095	3,366	3,067	1,571	0	1,571	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	423	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	800	800	800	800	881	881	425	0	848	0	
所要人数(人)	正規職員	0.26	0.27	0.26	0.27	0.45	0.41	0.21	0.00	0.21	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	負担金、補助及び交付金 800千円										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	年度					
			令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	
開催日数		日	目標値	7	7	7	7	7
			実績値	7	7	7		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
出展数		点	目標値	110	110	110	110	110
			実績値	91	90	86		
			達成度(%)	82.7%	81.8%	78.2%	%	%
入賞者数		人	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	10	10	10		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>絵画の制作者に発表の機会を与えるだけでなく、絵画を通じて本市の名所や旧跡を広く知ってもらい、また郷土愛を深めるきっかけとなる。</p>
見直し・改善内容	<p>入賞作品を掲載したポスターを市内の文化施設や観光案内所に配布し、本市の名所や旧跡のPRに努める。また、事業内容の改善により、同じ美術の展覧会である市美術展覧会事業との相乗効果を生み出すことで、市民の文化水準のさらなる向上を図る。</p>